

施設名称	今戸児童館	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
-------------	-------	-----------------	-------------------

1. 指定管理者の概要

①業務内容	台東区社会福祉事業団は、昭和 6 1 年 1 0 月に設立。区立の児童館・こどもクラブおよび高齢者福祉施設の管理・運営を受託している。
②類似施設の管理実績	児童館 7 館、13 こどもクラブ
③経営状況	(20 年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入 2,454,705,943 円, 歳出 2,433,180,998 円, 収支差額 21,524,945 円 [公益事業特別会計]歳入 327,444,890 円, 歳出 380,680,744 円, 収支差額▲53,235,854 円

2. 施設の概要

①所在地	台東区今戸 1-3-6
②設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。
③利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。
④開館日・時間	月曜日から土曜日：午前 9：30～午後 6：00、日曜日(第三日曜日を除く)は一部開放 午前 9：30～午後 6：00、休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)
⑤規模	RC 3 階建て 図書室・音楽室・図工室・遊戯室等
⑥人員体制	常勤職員 3 人、短時間職員 4 人

3. 事業(サービス提供)の概要

①委託事業	①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用をとおして児童の情操の育成に資する事業 ③健全な遊びをとおして児童の集団的及び個別的指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業
②自主事業	①利用者懇談会 ②小学生のボランティア体験プログラム ③野外活動(キャンプ・ナイトハイク)

4. 施設の稼動状況等

年度	開館日数	総数	幼児	小学生	中高生	大人
17	334	25,055	1,932	14,757	4,934	3,432
18	335	25,361	2,055	13,705	5,335	4,266
19	335	27,454	2,118	14,882	5,141	5,313
20	334	27,094	1,966	12,815	7,946	4,367

5. 予算決算の推移 (単位：円)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	委託料	41,969,000	42,504,000	43,428,000	43,997,000	42,627,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	41,969,000	42,504,000	43,428,000	43,997,000	42,627,000
決 算	委託料	36,788,949	35,032,543	39,074,398	39,733,360	
	料金収入等	0	0	0	0	
	管理経費	36,788,949	35,032,543	39,074,398	39,733,360	
	収支	0	0	0	0	

6. 指標

指標名称	単位	目標値 (22年度)	19年度	20年度	21年度
開館日数	日	334	335	334	333
利用者数	人	28,000	27,454	27,094	

7. 評価項目		
3：協定等の水準を上回っている。 2：おおむね協定等の水準どおりである。 1：協定等の水準を下回っている。 ー：評価対象外項目		
評価の観点	評価	項目
①事業の運営 平均 [2.1]	(1) 施設の目的達成 [2] (2) サービス水準 [2] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [2]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [3] (8) 個人情報保護 [2] (9) 緊急時対応マニュアル [2] (10) 警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [2] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [2] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.2]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [2] (2) 苦情・要望への対応と報告 [2] (3) 利用者数の目標達成 [2]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [3]
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費削減のための取組み [2]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [ー]
8. 評価		
A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。		
評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A	中高生タイムを始めとして、様々な活動を展開し、異年齢の交流や地域への貢献などに努力している。
②施設の維持管理	A	施設については、日常の清掃や安全管理に努めており、施設管理も記録されている。
③利用者の満足度	A+	児童健全育成の拠点として、利用者の意見や要望を汲み取った事業が行なわれている。低学年から中高生まで、異年齢の触れ合いが有り、それぞれの世代の成長に良い影響を与え合っている。
④歳入歳出	A	事業団の経営改革に関するプロジェクトチームに参画し、指定管理者として、職員全体で経費の削減、効率の向上に努力している。
⑤総合評価	A	学童クラブのない地域のため、家庭に代わる見守りの役割を果たしながら、幼児から中高生までの児童館ならではの子ども達の独創性を伸ばす事業展開が行なわれている。
9. 課題への対応等		
<p>中高生タイムでは、音楽活動を中心に楽しみながら中高生のエネルギーを効果的に発散している。中高生特有の思春期の問題解決のためにも、地域全体で、子ども達の健全な成長を支える必要があるため、町会等関係機関との連携や施設整備に取り組んでいく。</p> <p>また、個別な対応が必要なケースも増えているため、職員のスキルアップ研修、トラブルなどの緊急時対応マニュアルを活用していく。</p>		